

第 105 回

2018 年4月～6月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性	1
2	全体の景況判断	4
	(ア) 全体の景況感	4
	(イ) 各項目の状況	6
3	主要指標のクロス分析	11
	(ア) 景況感別の動向	11
	(イ) 業種別の動向	12
	(ウ) 従業員規模別の動向	12
	(エ) 本社地区別の動向	12
4	経営上の問題点	13
5	その他の調査項目	16
	(ア) 資金繰り	16
	(イ) 従業員の補充について	16
	(ウ) 2018年4月の新卒採用状況	17
	(エ) インターンシップの受入予定	18
	(オ) 夏の賞与状況	19
6	経営指針書について	20
7	自由回答項目	22
	(ア) 景況理由	22

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

前回より 24 件の増加で、回収率は 17.6%であった。

第 105 回:調査時期:平成 30 年 6 月 5 日～6 月 28 日

回収数:382 件(調査時点会員数 2,163 名、回収率 17.6%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第104回		第105回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	
1	WEB	294	82.1	323	84.6	2.5
2	FAX	64	17.9	59	15.4	-2.5
	サンプル数(%ベース)	358	358	382	382	24
1.業種						
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業(生産財)	22	6.1	29	7.6	1.5
2	製造業(消費財)	25	7	22	5.8	-1.2
3	建設業(建築)	34	9.5	38	10	0.5
4	建設業(土木)	8	2.2	15	3.9	1.7
5	建設業(設備)	19	5.3	16	4.2	-1.1
6	商業・流通業	35	9.8	40	10.5	0.7
7	サービス業(対事業所)	131	36.6	134	35.2	-1.4
8	サービス業(対個人)	84	23.5	87	22.8	-0.7
	不明	0	0	1	0	
	サンプル数(%ベース)	358	358	382	381	23
2.従業員数						
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名～5名	131	36.6	140	36.6	0
2	6名～10名	81	22.6	78	20.4	-2.2
3	11名～20名	57	15.9	65	17	1.1
4	21名～30名	18	5	31	8.1	3.1
5	31名～50名	26	7.3	20	5.2	-2.1
6	51名～100名	21	5.9	26	6.8	0.9
7	100名以上	24	6.7	22	5.8	-0.9
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	358	358	382	382	24

3.本社所在地		第104回		第105回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	福岡地区	255	71.2	251	65.7	-5.5
2	北九州地区	28	7.8	47	12.3	4.5
3	筑豊地区	35	9.8	52	13.6	3.8
4	県南(筑後)地区	26	7.3	26	6.8	-0.5
5	福岡県外	14	3.9	6	1.6	-2.3
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	358	358	382	382	24
4.所属支部		第104回		第105回		構成比増減
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	東支部	32	9.1	35	9.2	0.1
2	福博支部	16	4.6	26	6.8	2.3
3	博多支部	50	14.3	33	8.7	-5.6
4	中央支部	20	5.7	19	5.0	-0.7
5	西支部	18	5.1	19	5.0	-0.1
6	南支部	18	5.1	19	5.0	-0.1
7	筑紫支部	13	3.7	14	3.7	0.0
8	福友支部	46	13.1	34	8.9	-4.2
9	青年支部	10	2.9	26	6.8	4.0
10	玄海支部	10	2.9	17	4.5	1.6
11	かすや支部	15	4.3	7	1.8	-2.4
12	糸島支部	13	3.7	12	3.2	-0.6
13	北九州支部	20	5.7	32	8.4	2.7
14	ひびき支部	8	2.3	13	3.4	1.1
15	のおがた支部	16	4.6	21	5.5	1.0
16	飯塚支部	15	4.3	18	4.7	0.5
17	田川支部	4	1.1	12	3.2	2.0
18	久留米支部	10	2.9	8	2.1	-0.8
19	大牟田支部	8	2.3	9	2.4	0.1
20	有明支部	3	0.9	0	0.0	-0.9
21	りょうちく支部	5	1.4	6	1.6	0.2
	不明	8	2.3	2	0.5	-1.8
	サンプル数(%ベース)	358	350	382	380	30.0

	%	サンプル数	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
	合計	358	7.6	5.8	10.0	3.9	4.2	10.5	35.2	22.8
本社地区	福岡地区	255	3.6	5.2	10.4	4.0	4.8	10.0	42.2	19.9
	北九州地区	28	19.1	6.4	14.9	4.3	4.3	10.6	19.1	21.3
	筑豊地区	35	9.8	5.9	7.8	2.0	2.0	9.8	21.6	41.2
	県南（筑後）地区	26	19.2	11.5	3.8	7.7	3.8	15.4	19.2	19.2
	福岡県外	14	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7
従業員数規模	0名～5名	131	3.6	2.1	11.4	2.9	4.3	6.4	42.9	26.4
	6名～10名	81	5.2	7.8	16.9	3.9	6.5	10.4	29.9	19.5
	11名～20名	57	7.7	10.8	7.7	9.2	1.5	10.8	26.2	26.2
	21名～30名	18	19.4	9.7	0.0	3.2	6.5	9.7	32.3	19.4
	31名～50名	26	15.0	5.0	10.0	5.0	5.0	20.0	30.0	10.0
	51名～100名	21	19.2	3.8	0.0	0.0	3.8	15.4	34.6	23.1
	100名以上	24	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	22.7	40.9	18.2

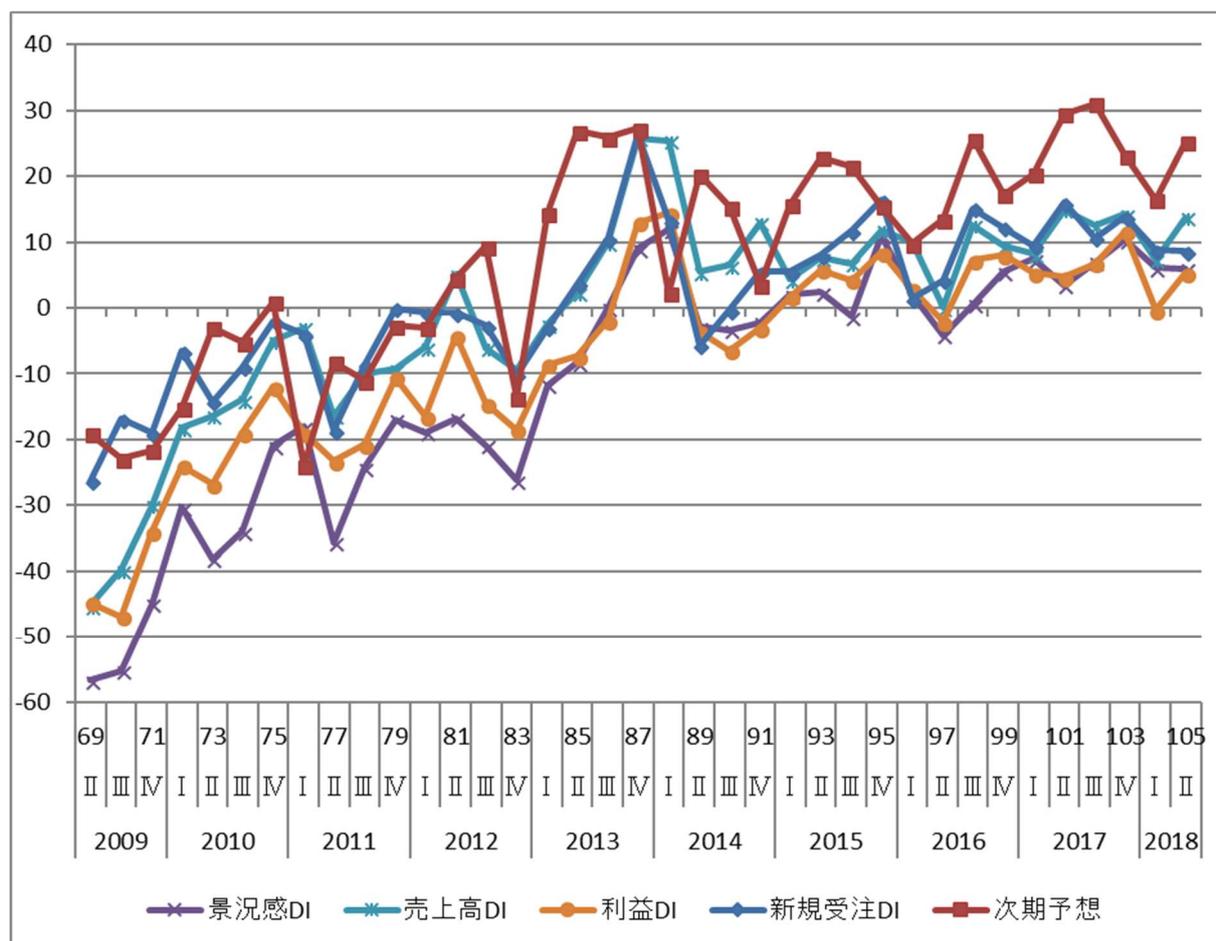
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よい-悪い)の状況はどうなっているか

景況感・新規受注は横ばいであったが、売上・利益・次期予想は改善した。

全体の推移



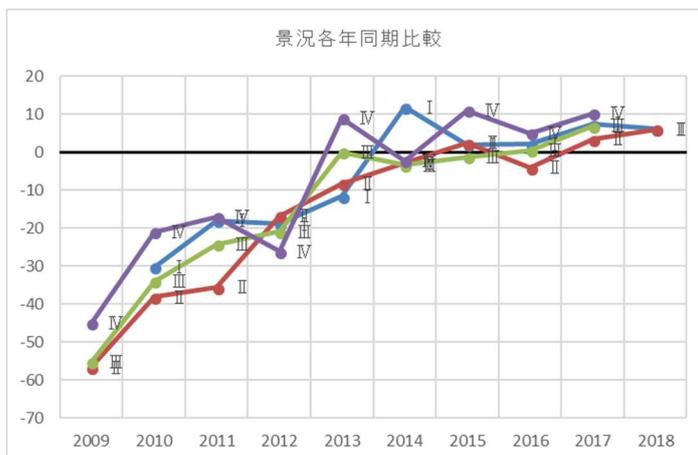
	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	6.0	-0.1
売上高 DI	13.7	6.4
利益 DI	5.3	5.6
新規受注 DI	8.6	-0.2
次期予想 DI	25.2	8.7

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2009	II	69	421	-57	-45	-45	-26	-19.1	0
	III	70	475	-55	-40	-47	-17	-22.9	0
	IV	71	413	-45	-30	-34	-19	-21.6	-28
2010	I	72	432	-30	-18	-24	-7	-5.2	-17
	II	73	535	-38	-16	-27	-14	-3	-21
	III	74	485	-34	-14	-19	-9	-5.2	-18
	IV	75	426	-21	-5	-12	-2	0.9	-15
2011	I	76	349	-18	-3	-19	-4	-24	-28
	II	77	398	-36	-16	-23	-19	-8.2	-11
	III	78	374	-24	-10	-21	-9	-11	-13
	IV	79	341	-17	-9	-11	0	-2.7	-10
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	-3.6	-16
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	1.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	1.0	1.8	8.4	6.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	2.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	4.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	2.6	6.7	10.6	31	5.7
	IV	103	355	0.3	4.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	-0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5

2014以前は四捨五入
 ※資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、前年同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2009		-57	-55	-45
2010	-30	-38	-34	-21
2011	-18	-36	-24	-17
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	12	-3	-3	-2
2015	2	2	-1	11
2016	2	-4	0	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6		



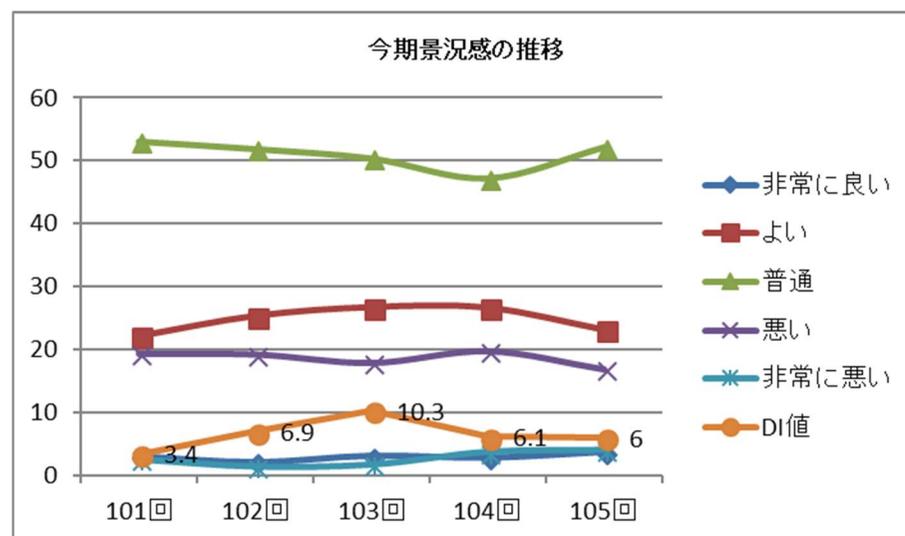
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2018年4月～6月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

景況感が「よい」「悪い」とともに減少し、「普通」が増加して、結果的に前回とほぼ横ばいとなった。

5. 今期景況判断		第104回	DI値	6.1	第105回	DI値	6	-0.1	
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減	
1	非常に良い	10	2.8	29.5	14	3.7	26.9	+0.9	-2.6
2	よい	95	26.7		88	23.2		-3.5	
3	普通	168	47.2	47.2	198	52.2	52.2	+5.0	
4	悪い	70	19.7	23.4	64	16.9	20.9	-2.8	-2.5
5	非常に悪い	13	3.7		15	4		+0.3	
	不明	2			3				
	サンプル数(%ベース)	358	356		382	379		23	



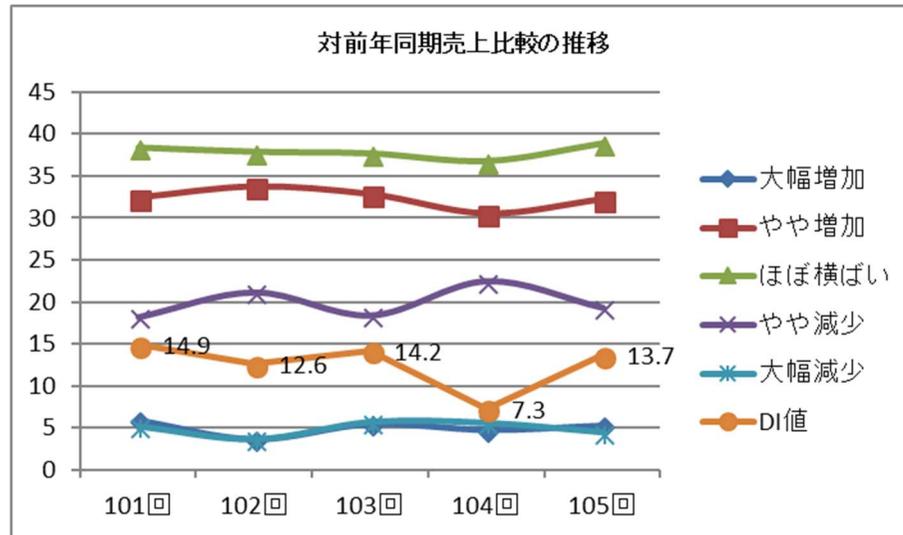
良い理由としては社会や業界の好調、普通や悪い理由としては営業不足や人員不足という回答が目立った。

売上高 DI

2018年4月～6月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2017年4月～6月)に比較してお答えください。

前回 6.9 の悪化となった売上高 DI 値は、今回 6.4pt 改善した

6.対前年同期売上高比較				第104回	DI値	7.3	第105回	DI値	13.7	+6.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%	増減		
1	大幅増加	17	4.8	35.3	→	20	5.3	37.5	+0.5	+2.2
2	やや増加	109	30.5			122	32.2		+1.7	
3	ほぼ横ばい	131	36.7	36.7	147	38.8	38.8	+2.1		
4	やや減少	80	22.4	28		73	19.3	23.8	-3.1	-4.2
5	大幅減少	20	5.6			17	4.5		-1.1	
	不明	1				3				
	サンプル数(%ベース)	358	357			382	379		22	



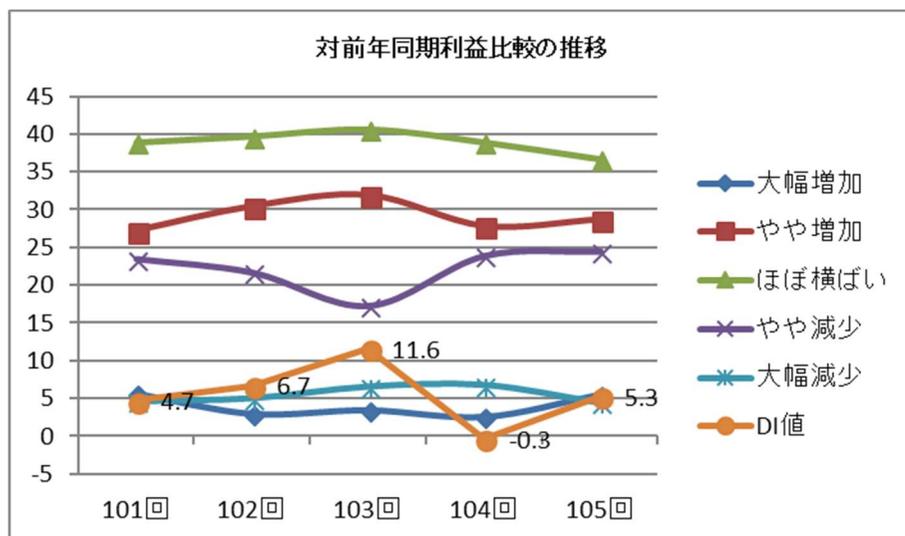
NO	景況理由 pickup「売上」
143	売上単価の上昇の為
253	売上高は前年同期と変わらずも外注費の増加にて利益現象状況。建築会社依頼工事、公共工事の受注有り。
108	主力商品の売上げが若干悪い。得意先の営業体制が整っていない。雇用厳しい。
271	新規受注による売上増となったため
201	職員が昨年2人退職したので、今年は売上げより内部組織の見直しをしているため。
63	29年1月～30年3月が前年比売上げ減少だった。現在前年と同じ程になった。
28	6月完成の為売上は7月になる
289	人材確保が出来ていない事で売上げ減少。

利益 DI

2018年4月～6月期の貴社の「利益」について、前年同期((2017年4月～6月期))に比較してお答えください。

前回マイナス域となった利益 DI は、今回 5.6pt 改善した。

7.対前年同期利益比較		第104回	DI値	-0.3	第105回	DI値	5.3	+5.6
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	9	2.6	30.4	21	5.6	34.3	+3.0
2	やや増加	98	27.8		108	28.7		+0.9
3	ほぼ横ばい	137	38.9	30.7	138	36.7	29	-2.2
4	やや減少	84	23.9		92	24.5		+0.6
5	大幅減少	24	6.8	17	4.5	-2.3	-1.7	
	不明	6			6			
	サンプル数(%ベース)	358	352		382	376		24



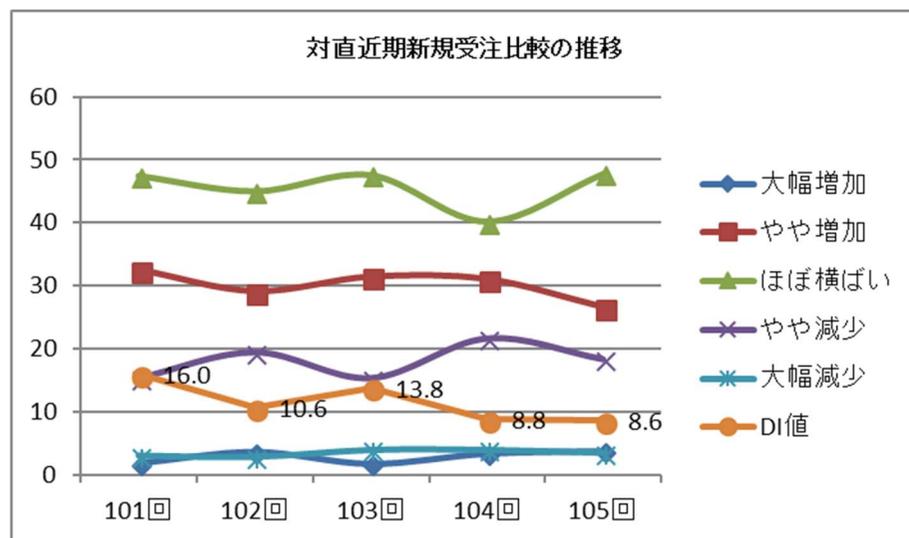
NO	景況理由 pickup「益」
176	値上による価格改定と改善により無駄な支出を削減したことで利益が増加した。
253	売上高は前年同期と変わらずも外注費の増加にて利益現象状況。建築会社依頼工事、公共工事の受注有り。
51	既存客については前年 95～100%新規については、減少分増、利益については、現在仕入の値上げ交渉中 7月1日から影響すると思われる
87	増収減益に理由は人員の先行投資。
125	利益率の確保が厳しくなった。
90	本社工場を新しく移転したため、利益減となっている
273	人件費のため高騰のため利益減少。

新規受注 DI

2018年4月～6月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2018年1月～3月期)に比較してお答えください。

前回は「やや減少」傾向だった新規受注 DI は、今回は「ほぼ横ばい」が増加している。

8.対直近期新規受注比較		第104回	DI値	8.8	第105回	DI値	8.6	-0.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	12	3.4	34.4	14	3.8	30.4	+0.4
2	やや増加	109	31		99	26.6		-4.4
3	ほぼ横ばい	141	40.1	40.1	178	47.8	47.8	+7.7
4	やや減少	76	21.6	25.6	68	18.3	21.8	-3.3
5	大幅減少	14	4		13	3.5		-0.5
	不明	6			10			
	サンプル数(%ベース)	358	352		382	372		20



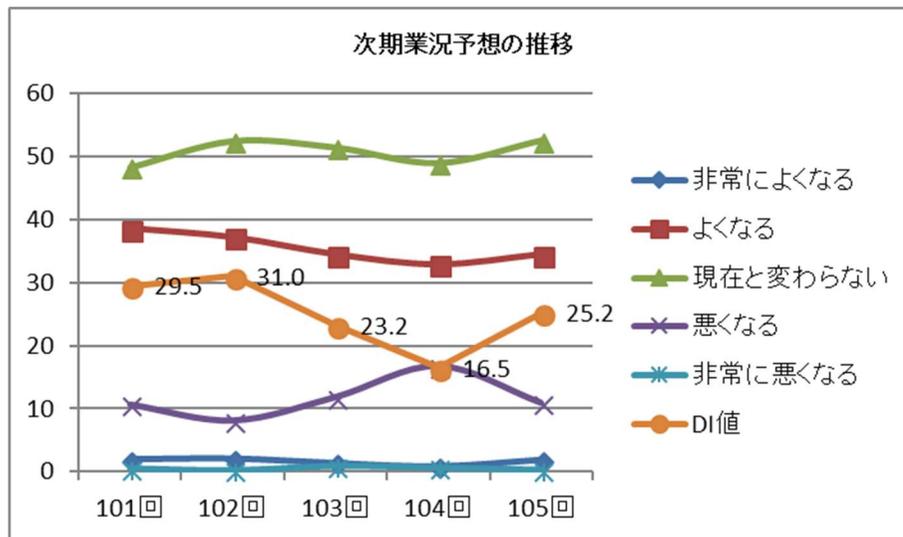
NO	景況理由
305	大型改修工事受注。
302	新製品の受注が取れて、3月～6月まで納品があった。
60	取引先が増えたことで、受注が増えた為。
255	公共工事の受注あり。民間工事の営業活動の成果。
298	新規受注の拡大
74	新規受注が増えたため
358	民間、官公需ともに受注できた為。
102	口コミによる新規受注の増加
46	過当競争と問い合わせ減少により、新規受注減。
113	2017年9月企業。未受注状態が続いています。
271	新規受注による売上増となったため
157	安定受注をめざし計画的に営業した
325	自社サイトから新規制作案件の受注が昨年よりも増加。
1	受注減
136	社員減少による受注減

次期予想 DI

2018年7月～9月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

次期予想 DI は 8.7pt の改善で 25.2pt となった。

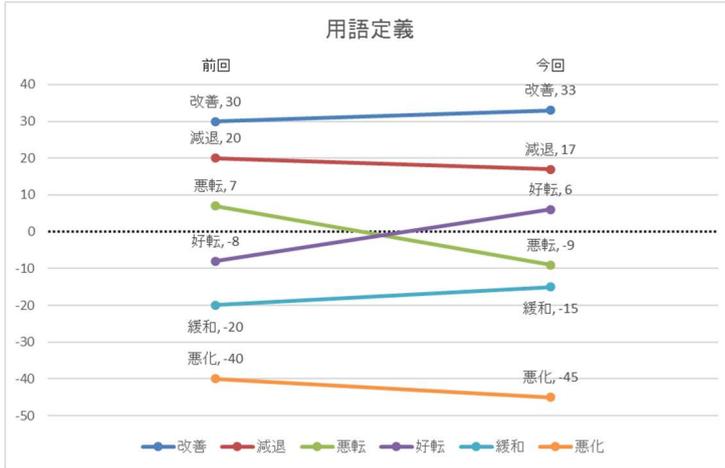
10.次期業況予想				第104回	DI値	16.5	第105回	DI値	25.2	+8.7
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	増減				
1	非常によくなる	3	0.9	7	1.9	+1.0				
2	よくなる	114	32.9	130	34.5	+1.6				
3	現在と変わらない	170	49	198	52.5	+3.5				
4	悪くなる	58	16.7	41	10.9	-5.8				
5	非常に悪くなる	2	0.6	1	0.3	-0.3				
	不明	11		5						
	サンプル数(%ベース)	358	347	382	377	30				



「よくなる」側は下げ止まり、「悪くなる」側は減少しており、警戒感が薄れた様子が見られる。

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

景況感が普通であった層においても売上 DI、利益 DI は改善を見せているが、新規受注 DI については各層によって異なった動きを見せている。次期予想については概ね改善を見せている。

	第105回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
	有効回答数	379	100%	376	373	369	374	
今期景況感	非常に良い	14	3.7%(0.9)	100(10)	85.7(5.7)	64.3(-25.7)	57.1(12.7)	7.1
	よい	88	23.2%(-3.5)	84.9(7)	72.7(4.2)	59.3(6.6)	48.9(24.7)	1.1
	普通	198	52.2%(5)	14.1(12.9)	3.1(7.3)	5.2(-8)	19.2(-1)	0.5
	悪い	64	16.9%(-2.8)	-82.5(-11.1)	-80.6(-0.6)	-46.8(16.5)	7.8(15.2)	1.6
	非常に悪い	15	4%(0.3)	-93.3(-31.8)	-93.3(-39.5)	-73.3(-27.2)	0(-23.1)	6.7

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなようであったか

消費財や建設業において悪化や改善減退が目立つ。今回は利益 DI が好転した業種があるほか、商業流通業の好転が目立つ。

第105回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		378(22)	378(21)	375(23)	371(19)	376(29)		
全体	381	6.1(-0.1)	13.5(6.2)	5.1(5.4)	8.6(-0.2)	25.3(8.8)	0.3	
業種	製造業(生産財)	29	20.7(20.7)	24.1(9.9)	17.2(17.2)	29.6(16)	34.5(29.9)	3.4
	製造業(消費財)	22	-36.4(-12.4)	-31.8(-11.8)	-27.3(0.7)	-18.2(-9.8)	22.7(-5.3)	4.5
	建設業(建築)	38	2.7(-35.5)	7.9(-15.6)	10.8(-13.4)	5.3(-15.3)	40.5(37.5)	2.6
	建設業(土木)	15	-6.7(-31.7)	14.3(-23.2)	7.1(-17.9)	-14.3(-26.8)	53.3(28.3)	6.7
	建設業(設備)	16	-6.3(-50.7)	6.7(-30.2)	-6.3(-37.8)	18.8(-12.8)	31.3(20.1)	6.3
	商業・流通業	40	2.6(19.7)	17.5(31.8)	12.5(18.4)	10.3(-1.5)	13.2(13.2)	2.5
	サービス業(対事業所)	134	15.8(10.4)	21.8(19.5)	10.7(19.3)	16.8(12.1)	27.3(5.2)	0.7
	サービス業(対個人)	87	4.6(-0.2)	10.3(-3.9)	-3.5(-7.1)	-1.2(-8.5)	12.6(-7.6)	1.1

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

中間層以上において売上改善や受注改善がみられる。

第105回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		379(23)	379(22)	376(24)	372(20)	377(30)		
全体	382	6.1(-0.1)	13.7(6.4)	5.3(5.6)	8.6(-0.2)	25.2(8.8)	0.3	
従業員規模	0名～5名	140	10.9(-0.6)	13(0.1)	10.1(7.8)	8.7(-7.1)	22.6(2.1)	0.7
	6名～10名	78	2.6(2.6)	7.7(7.7)	-4(-5.2)	7.9(0.4)	20.8(10.9)	1.3
	11名～20名	65	-13.8(-5.1)	3.1(12.1)	0(12.3)	-13.1(-14.9)	32.3(28.7)	1.5
	21名～30名	31	12.9(-3.8)	22.6(22.6)	0(-5.6)	20(20)	22.6(-12.7)	3.2
	31名～50名	20	10(6)	35(15.8)	25(29)	45(48.8)	45(29.6)	5.0
	51名～100名	26	-7.7(-22)	-7.7(-26.7)	-19.2(-24)	7.7(-16.1)	15.4(-13.2)	3.8
	100名以上	22	50(29.2)	63.6(42.8)	40.9(36.4)	23.8(23.8)	33.3(8.3)	4.5

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

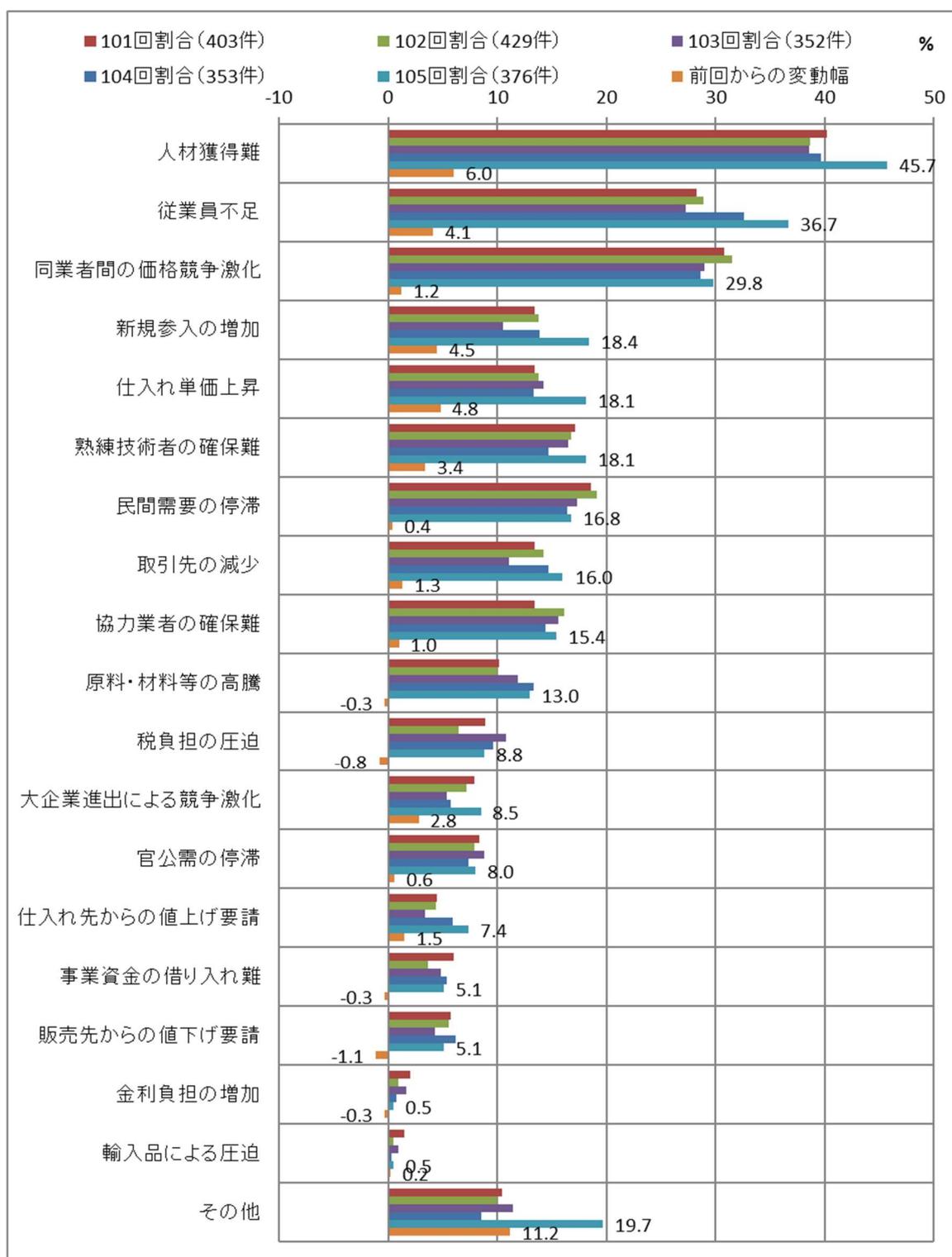
いずれの地区も売上 DI が改善したほか、筑豊の好転が目立つ。

第105回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		379(23)	379(22)	376(24)	372(20)	377(30)		
全体	382	6.1(-0.1)	13.7(6.4)	5.3(5.6)	8.6(-0.2)	25.2(8.8)	0.3	
本社地区	福岡地区	251	4.8(-4.3)	12.5(3.5)	6.5(6.9)	8.5(-1.4)	27.3(11.5)	0.4
	北九州地区	47	0(0)	8.5(1.4)	-4.4(-4.4)	17.4(2)	23.9(27.8)	2.1
	筑豊地区	52	19.2(24.9)	23.1(23.1)	9.8(9.8)	4(15.4)	19.2(-1.4)	1.9
	県南(筑後)地区	26	0(7.7)	3.8(19.2)	-3.8(0)	0(-16)	8(-22.8)	3.8
	福岡県外	6	16.7(-4.8)	66.7(31)	33.3(26.2)	20(5.7)	80(51.4)	16.7

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの上位3項目を選んでご回答ください。

今回はもともと上位であった「人材獲得難」「従業員不足」がさらに増加した。



■問題点自由回答

問題点	業種	今期景況感	従業員数	本社地区
1 開発した新商品が、客先商談まで至っていない。	製造業(生産財)	非常に悪い	0名~5名	北九州地区
2 人口減少・業界全体の売り上げ減少	商業・流通業	よい	100名以上	福岡地区
3 製造委託先のキャバが逼迫し納期遅れが発生している。	商業・流通業	よい	31名~50名	福岡地区
4 販路開発	商業・流通業	普通	0名~5名	福岡地区
5 組織内の共育	サービス業(対事業所)	よい	21名~30名	筑豊地区
6 働き方改革(同一労働同一賃金)	サービス業(対事業所)	よい	100名以上	福岡地区
7 新商品・サービスの開発	サービス業(対事業所)	普通	0名~5名	福岡地区
8 従業員のスキル不足	サービス業(対事業所)	普通	11名~20名	福岡地区
9 国に報酬単価の減少	サービス業(対個人)	普通	11名~20名	福岡地区
10 監督官庁の求める体制整備への対応	サービス業(対個人)	普通	6名~10名	筑豊地区
11 一件あたりの売上げ高が低下傾向です。	サービス業(対個人)	普通	11名~20名	福岡県外
12 行政の締め付け	サービス業(対個人)	普通	51名~100名	北九州地区

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南(筑後)地区	福岡県外
回答件数	376	247	46	51	26	6
人材獲得難	45.7	45.3	56.5	37.3	50.0	33.3
従業員不足	36.7	36.8	41.3	39.2	26.9	16.7
同業者間の価格競争激化	29.8	32.0	17.4	31.4	23.1	50.0
新規参入の増加	18.4	19.8	10.9	17.6	7.7	66.7
仕入れ単価上昇	18.1	18.2	15.2	21.6	19.2	0.0
熟練技術者の確保難	18.1	17.0	26.1	17.6	15.4	16.7
民間需要の停滞	16.8	17.0	15.2	15.7	23.1	0.0
取引先の減少	16.0	17.0	15.2	13.7	11.5	16.7
協力業者の確保難	15.4	13.4	26.1	13.7	23.1	0.0
原料・材料等の高騰	13.0	11.3	15.2	11.8	26.9	16.7
税負担の圧迫	8.8	9.3	6.5	11.8	3.8	0.0
大企業進出による競争激化	8.5	10.5	6.5	5.9	0.0	0.0
官公需の停滞	8.0	8.9	0.0	7.8	11.5	16.7
仕入れ先からの値上げ要請	7.4	5.3	6.5	11.8	23.1	0.0
事業資金の借り入れ難	5.1	4.5	6.5	7.8	3.8	0.0
販売先からの値下げ要請	5.1	5.3	4.3	5.9	0.0	16.7
金利負担の増加	0.5	0.4	2.2	0.0	0.0	0.0
輸入品による圧迫	0.5	0.0	2.2	2.0	0.0	0.0
その他	19.7	19.0	17.4	21.6	19.2	50.0

各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

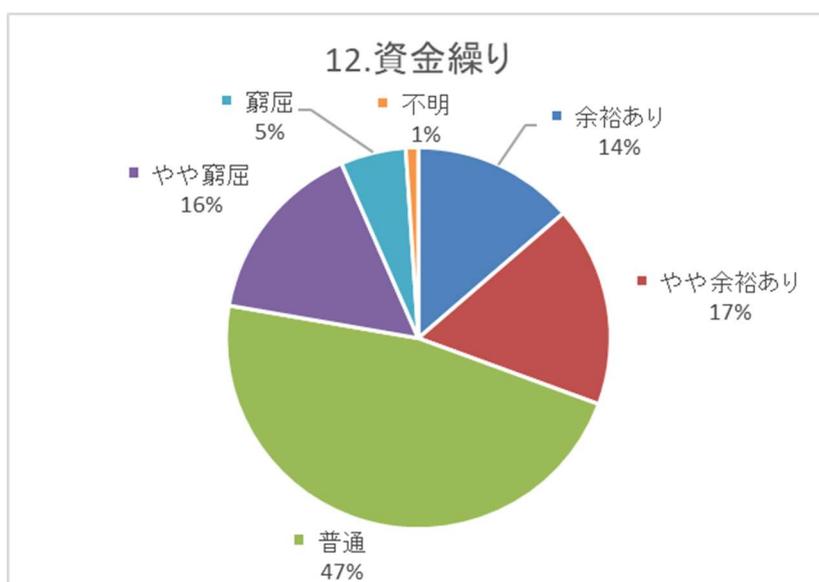
業種別の経営上の問題点										
	%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
	回答件数	375	28	22	38	15	16	40	132	84
17	人材獲得難	45.9	50.0	22.7	63.2	46.7	50.0	32.5	45.5	48.8
9	同業者間の価格競争激化	36.5	32.1	18.2	55.3	26.7	62.5	30.0	37.1	33.3
18	従業員不足	29.9	25.0	22.7	10.5	6.7	12.5	47.5	34.8	33.3
2	民間需要の停滞	18.4	0.0	13.6	2.6	6.7	6.3	17.5	25.8	26.2
13	熟練技術者の確保難	18.1	21.4	31.8	26.3	20.0	0.0	40.0	10.6	14.3
14	協力業者の確保難	18.1	28.6	13.6	42.1	46.7	37.5	5.0	15.2	7.1
4	仕入れ単価上昇	16.8	14.3	27.3	10.5	6.7	12.5	25.0	15.9	17.9
3	原料・材料等の高騰	16.0	14.3	22.7	7.9	6.7	0.0	20.0	16.7	20.2
11	取引先の減少	15.5	25.0	9.1	39.5	40.0	37.5	5.0	13.6	2.4
7	税負担の圧迫	13.1	42.9	27.3	5.3	13.3	6.3	17.5	6.1	13.1
8	新規参入の増加	8.8	0.0	4.5	10.5	0.0	0.0	0.0	6.1	23.8
1	官公需の停滞	8.5	3.6	4.5	0.0	6.7	0.0	12.5	11.4	10.7
16	大企業進出による競争激化	8.0	7.1	4.5	7.9	40.0	18.8	7.5	8.3	1.2
5	事業資金の借入れ難	7.5	17.9	36.4	7.9	6.7	6.3	7.5	2.3	4.8
12	販売先からの値下げ要請	5.1	0.0	4.5	0.0	0.0	12.5	5.0	7.6	4.8
6	仕入れ先からの値上げ要請	5.1	3.6	18.2	0.0	0.0	6.3	2.5	6.8	3.6
10	金利負担の増加	0.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
15	輸入品による圧迫	0.5	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
19	その他	19.7	10.7	4.5	10.5	13.3	18.8	25.0	25.0	21.4

各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

5 その他の調査項目

(ア) 資金繰り

12.資金繰り		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	余裕あり	52	13.8	13.6
2	やや余裕あり	65	17.2	17
3	普通	180	47.6	47.1
4	やや窮屈	60	15.9	15.7
5	窮屈	21	5.6	5.5
	不明	4		1
	サンプルサイズ*(n値)	382	378	100



資金繰り DI 値は 9.5 と良好である。

(イ) 従業員の補充について

従業員の補充についてはハローワークが多く、新卒、既卒、求人誌を活用している。その他人材派遣等少数意見は未カウントである。なお対策なしにはできていない場合と行っていない場合が含まれている。

業種別	件数	ハローワーク	新卒採用	既卒採用	求人誌等	対策なし
製造業(生産財)	20	25%	15%	5%	0%	10%
製造業(消費財)	14	7%	21%	7%	7%	14%
建設業(建築)	17	18%	18%	12%	0%	29%
建設業(土木)	7	29%	14%	0%	0%	14%
建設業(設備)	14	36%	21%	7%	0%	14%
商業・流通業	15	33%	13%	20%	20%	13%
サービス業(対事業所)	65	12%	12%	8%	6%	8%
サービス業(対個人)	36	22%	6%	6%	6%	11%
総計	188	20%	13%	8%	5%	12%

地区別	件数	ハローワーク	新卒採用	既卒採用	求人誌等	対策なし
福岡	125	18%	16%	7%	6%	13%
北九	23	22%	9%	9%	9%	9%
筑豊	24	13%	8%	8%	4%	17%
筑後	12	42%	0%	8%	0%	8%
県外	4	25%	25%	25%	0%	0%
総計	188	20%	13%	8%	5%	12%

人数別	件数	ハローワーク	新卒採用	既卒採用	求人誌等	対策なし
0名～5名	51	10%	2%	0%	4%	20%
6名～10名	39	28%	13%	5%	3%	13%
11名～20名	31	35%	10%	6%	3%	10%
21名～30名	22	14%	14%	14%	5%	9%
31名～50名	11	18%	27%	18%	27%	0%
51名～100名	20	10%	20%	15%	5%	10%
100名以上	14	21%	43%	21%	7%	7%
総計	188	20%	13%	8%	5%	12%

(ウ) 採用状況

2018年4月の新卒採用状況

14.2018年4月の新卒採用		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	採用した	71	18.9	18.6
2	採用なし	305	81.1	79.8
	不明	6		1.6
	N (%ベース)	382	376	100
14-2.新卒採用人数		(数量)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1名	23	32.4	36.5
2	2名	22	31	34.9
3	3名	5	7	7.9
4	4名	2	2.8	3.2
5	5名以上	11	15.5	17.5
	不明	8	11.3	
	N (%ベース)	71	100	63

2017年4月1日から2018年3月31日までの採用状況

業種	件数	既卒件 (%)	新卒件 (%)	新既不明件 (%)	人数不明件 (%)	採用無し件 (%)	既卒 (人)	新卒 (人)	新既不明 (人)
製造業(生産財)	21	76%	29%	0%	0%	10%	36	6	
製造業(消費財)	11	45%	18%	0%	0%	36%	9	13	
建設業(建築)	17	65%	24%	6%	0%	24%	18	5	2
建設業(土木)	7	57%	43%	0%	0%	29%	11	4	
建設業(設備)	6	67%	33%	17%	0%	17%	5	2	1
商業・流通業	19	58%	37%	11%	5%	16%	31	45	41
サービス業(対事業所)	60	52%	28%	5%	3%	25%	105	42	6
サービス業(対個人)	33	58%	21%	3%	3%	18%	61	25	2
総計	174	58%	28%	5%	2%	21%	276	142	52

地区	件数	既卒件 (%)	新卒件 (%)	新既不明件 (%)	人数不明件 (%)	採用無し件 (%)	既卒 (人)	新卒 (人)	新既不明 (人)
福岡	116	54%	28%	7%	3%	22%	181	62	52
筑豊	21	67%	24%	0%	0%	19%	27	22	
筑後	12	58%	33%	0%	0%	25%	13	8	
県外	4	100%	50%	0%	0%	0%	19	37	
北九州	21	62%	19%	0%	0%	24%	36	13	
総計	174	58%	28%	5%	2%	21%	276	142	52

規模	件数	既卒件 (%)	新卒件 (%)	新既不明件 (%)	人数不明件 (%)	採用無し件 (%)	既卒 (人)	新卒 (人)	新既不明 (人)
0名～5名	36	33%	6%	3%	6%	53%	23	2	1
6名～10名	35	49%	20%	3%	3%	29%	35	8	1
11名～20名	36	78%	19%	8%	0%	11%	62	11	6
21名～30名	19	68%	53%	0%	0%	5%	30	12	
31名～50名	15	80%	33%	7%	7%	0%	53	6	2
51名～100名	17	65%	35%	0%	0%	18%	29	11	
100名以上	16	50%	69%	13%	0%	0%	44	92	42
総計	174	58%	28%	5%	2%	21%	276	142	52

(エ) インターンシップの受入予定

業種	件数	予定あり	予定なし
製造業(生産財)	18	33%	56%
製造業(消費財)	9	22%	78%
建設業(建築)	11	45%	45%
建設業(土木)	5	40%	40%
建設業(設備)	4	25%	50%
商業・流通業	14	21%	57%
サービス業(対事業所)	47	26%	64%
サービス業(対個人)	17	41%	53%
総計	125	30%	58%

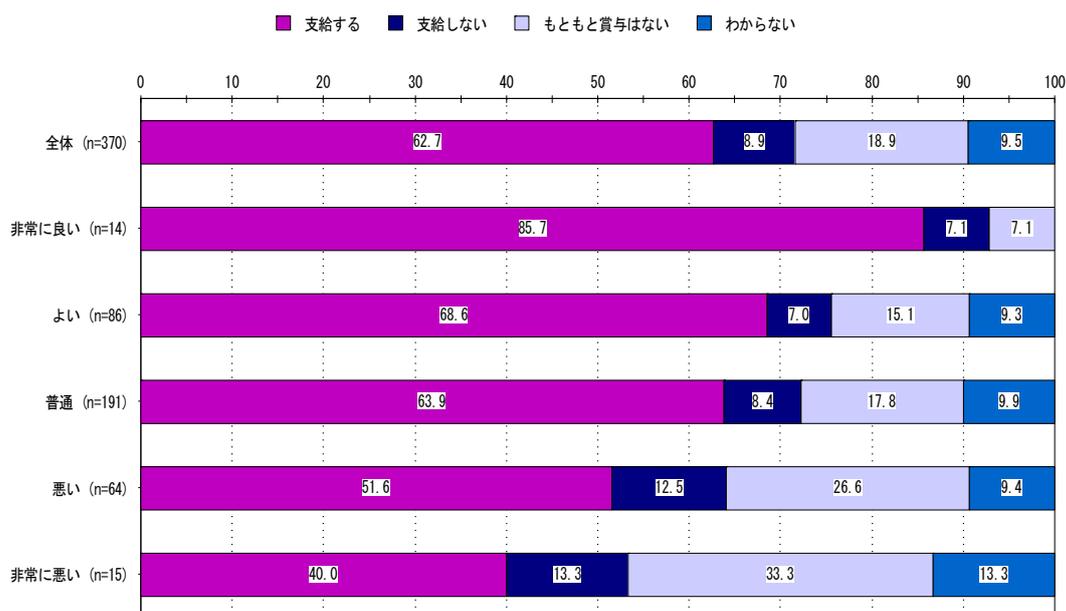
地区	件数	予定あり	予定なし
福岡	80	23%	66%
北九	19	58%	37%
筑豊	15	27%	60%
筑後	9	44%	33%
県外	2	50%	50%
総計	125	30%	58%

規模	件数	予定あり	予定なし
0名～5名	31	6%	84%
6名～10名	23	39%	52%
11名～20名	22	32%	59%
21名～30名	17	47%	41%
31名～50名	8	38%	50%
51名～100名	12	33%	50%
100名以上	12	42%	42%
総計	125	30%	58%

(オ) 夏の賞与状況

17.夏の賞与予定		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	支給する	235	63	61.5
2	支給しない	33	8.8	8.6
3	もともと賞与はない	70	18.8	18.3
4	わからない	35	9.4	9.2
	不明	9		2.4
	N (%ベース)	382	373	100

17.夏の賞与予定 × 5.今期景況判断



18.支給基準		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	2か月以上	30	12.9	12.8
2	1.5～2か月未満	55	23.6	23.4
3	1～1.5か月未満	77	33	32.8
4	1か月未満	49	21	20.9
5	寸志程度	22	9.4	9.4
	不明	2		0.9
	N (%ベース)	235	233	100

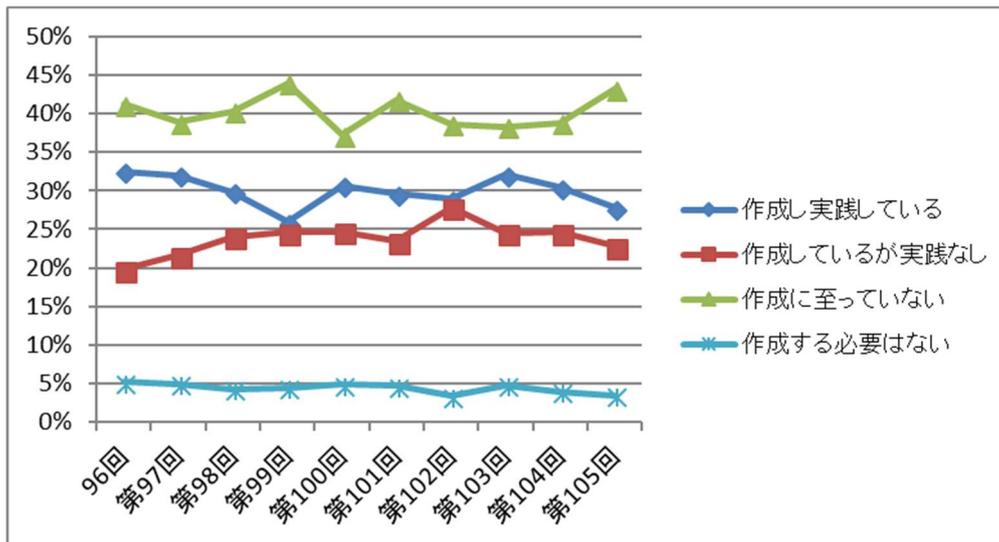
6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

「実践している」という回答が減少し「作成に至っていない」が増加している。。

経営指針書の作成と実践		第104回		第105回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	109	31.1	106	28.6	27.7
2	作成しているが実践なし	88	25.1	87	23.5	22.8
3	作成に至っていない	139	39.7	165	44.5	43.2
4	作成する必要はない	14	4	13	3.5	3.4
	不明	8		11		2.9
	サンプル数(%ベース)	358	350	382	371	100



検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

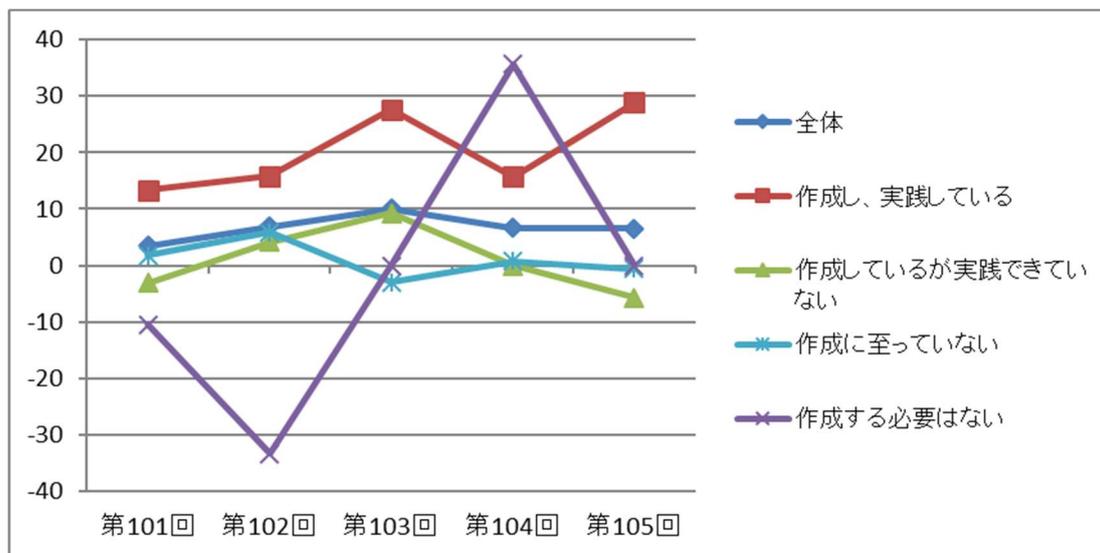
実践している企業のほとんどは一定の頻度で検証している。

20.経営指針書の検証について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	41	39	38.7
2	毎月ではないが検証している	47	44.8	44.3
3	年に1回は検証している	17	16.2	16
4	全く検証していない	0	0	0
	不明	1		0.9
	サンプルサイズ*(n値)	106	105	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

過去5回分について作成状況別に景況DIを見ると、作成し、実践している企業は景況感が高いことが分かる。



7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	景況理由	業種	人数	地区	景況
1	半導体関連の業界の好景気に乗れたことが第一である。また、人員増加や設備導入によって生産効率も格段に増加している。	製造業(生産財)	11名～20名	県外	非常に良い
2	国内外への営業活動の成果	製造業(生産財)	51名～100名	筑後	非常に良い
3	業界が良い。	製造業(生産財)	11名～20名	筑豊	非常に良い
4	創業以来43年、勝ち残ってきた間にオンリーワンになってきた。見積もり競合が無い、受注多い、粗利も良くなった。	製造業(生産財)	21名～30名	北九	非常に良い
5	弊社に対する評価がよくなっている	建設業(建築)	31名～50名	福岡	非常に良い
6	大型改修工事受注。	建設業(設備)	6名～10名	福岡	非常に良い
7	お客様の設備投資が増えたため	商業・流通業	51名～100名	筑豊	非常に良い
8	当たり前のことをしているだけ。	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡	非常に良い
9	季節変動による(4～6月が繁忙期)	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊	非常に良い
10	同友会、ゴルフ、BHIなど参加して人脈が広がっている。	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	非常に良い
11	新製品の受注が取れて、3月～6月まで納品があった。	製造業(生産財)	0名～5名	筑後	よい
12	取引先が増えたことで、受注が増えた為。	製造業(生産財)	21名～30名	福岡	よい
13	営業活動を継続的に行ってきたためと思われる。	製造業(生産財)	31名～50名	福岡	よい
14	主要商圏である福岡、東京の景況が良い。特に不動産、ハウスメーカー、ネット通販が牽引。	製造業(生産財)	31名～50名	福岡	よい
15	新規取引先及び外注先の増加が要因と思われます。	製造業(生産財)	0名～5名	北九	よい
16	得意先確保、営業力強化	製造業(消費財)	21名～30名	福岡	よい
17	オリンピック?	建設業(建築)	0名～5名	福岡	よい
18	時代の背景。	建設業(建築)	0名～5名	福岡	よい
19	地域密着	建設業(建築)	6名～10名	福岡	よい
20	春になってリフォームが増えた。お客様の気分?	建設業(建築)	6名～10名	北九	よい
21	公共工事の増加と、設計と現状の差異	建設業(土木)	6名～10名	筑後	よい

22	公共工事の受注あり。民間工事の営業活動の成果。	建設業(土木)	11名～20名	福岡	よい
23	新規受注の拡大	建設業(設備)	0名～5名	福岡	よい
24	建設ラッシュのため。	建設業(設備)	21名～30名	福岡	よい
25	店舗数増加	商業・流通業	100名以上	福岡	よい
26	価格に対する社会的理解が得られた。	商業・流通業	100名以上	福岡	よい
27	インバウンド需要が堅調	商業・流通業	31名～50名	福岡	よい
28	様々なテストと分析を継続して行い、状況に合わせて対策を細かく変更しているから	商業・流通業	6名～10名	福岡	よい
29	長期契約の案件の確保	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	よい
30	日々の人脈づくりの効果があつたのではと考えています。	サービス業(対事業所)	0名～5名	筑豊	よい
31	遅れていた工事等が重なり順調に仕事が増やせた。	サービス業(対事業所)	21名～30名	筑豊	よい
32	営業活動がうまく行ったから。	サービス業(対事業所)	6名～10名	筑豊	よい
33	仕入れ高上昇。	サービス業(対事業所)	6名～10名	筑豊	よい
34	新規受注が増えたため	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
35	新規受注がない為	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
36	たまたま	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
37	官庁の発注が増えた為	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
38	営業不足	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
39	民間、官公需ともに受注できた為。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
40	顧客の増加。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	よい
41	売上単価の上昇の為	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	よい
42	経営指針に基づく経営と毎月の振り返り	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	よい
43	値上による価格改定と改善により無駄な支出を削減したことで利益が増加した。	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	よい
44	大口顧客からの発注による。	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	よい
45	昨年秋の人事異動、組織改編、新プロジェクト立ち上げ。	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	よい
46	景気よいので、仕入れを強化して売り上げを伸ばした。	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡	よい
47	既存、新規顧客への営業強化	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	よい
48	景気？金利？	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	よい
49	昨年4月に開業したばかりの会社につき、増収で当然かと。	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	よい
50	新規取引先が増えたため	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九	よい

51	規制強化	サービス業(対事業所)	100名以上	北九	よい
52	口コミによる新規受注の増加	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊	よい
53	施設の拡大。	サービス業(対個人)	11名～20名	筑豊	よい
54	職員の努力。広報活動。	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	よい
55	不動産売買が活発であるため	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	よい
56	販売チャンネルを増やした。	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	よい
57	事業継承の効果	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	よい
58	変化し、前進している姿勢に結果が出てきたから。	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	よい
59	市場の変化に対応が遅れている。	製造業(生産財)	21名～30名	筑後	普通
60	閑散期による季節的要因	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	普通
61	大きな変化がない。	製造業(生産財)	51名～100名	福岡	普通
62	売り上げは横ばいであるが、材料の値上がり、競争の激化により、粗利率が減少した。	製造業(生産財)	31名～50名	北九	普通
63	大手メーカーの発注が多いのと、大手が新規メーカーを探している為にやや増加している。建設(ビル等)業界は大変な業績を上げる中、我々プラント設備業界は、中国、韓国、東南アジアに苦戦を強いられている状況です。	製造業(生産財)	51名～100名	北九	普通
64	別に無し	建設業(建築)	0名～5名	筑豊	普通
65	人員不足	建設業(建築)	0名～5名	筑豊	普通
66	人員不足。	建設業(建築)	0名～5名	福岡	普通
67	作業員不足。	建設業(建築)	0名～5名	福岡	普通
68	新規受注	建設業(建築)	100名以上	福岡	普通
69	土地の値上がり、建築費のアップで収支が悪くなってきた。	建設業(建築)	100名以上	福岡	普通
70	時期的なもの	建設業(建築)	6名～10名	福岡	普通
71	受注活動	建設業(建築)	6名～10名	福岡	普通
72	少し仕事が多かった。	建設業(土木)	0名～5名	筑豊	普通
73	ケガのため長期休業中	建設業(土木)	0名～5名	福岡	普通
74	特別の変化はない。	建設業(土木)	21名～30名	福岡	普通
75	環境の変化。	建設業(土木)	6名～10名	北九	普通
76	これまでの営業努力と、民間需要増の成果。	建設業(設備)	31名～50名	筑豊	普通
77	毎年のことです。	建設業(設備)	0名～5名	福岡	普通

78	売上高は前年同期と変わらずも外注費の増加にて利益現象状況。建築会社依頼工事、公共工事の受注有り。	建設業(設備)	6名～10名	福岡	普通
79	例年4月～6月は横ばい。	建設業(設備)	6名～10名	福岡	普通
80		建設業(設備)	0名～5名	北九	普通
81	体制が整ってきた為。	商業・流通業	100名以上	県外	普通
82	過当競争と問い合わせ減少により、新規受注減。	商業・流通業	0名～5名	福岡	普通
83	販売が出来る土地・建物が少なくなった。	商業・流通業	0名～5名	福岡	普通
84	既存。	商業・流通業	11名～20名	福岡	普通
85	新規顧客の獲得が厳しきになっている	商業・流通業	51名～100名	福岡	普通
86	既存客については前年 95～100%新規については、減少分増、利益については、現在仕入の値上げ交渉中 7月1日から影響すると思われる	商業・流通業	6名～10名	福岡	普通
87	原料高による仕入れ価格値上がり。	商業・流通業	11名～20名	北九	普通
88	仕入れ値と売値の見直しをした。	商業・流通業	6名～10名	北九	普通
89	計画的な戦略を取り入れている。	サービス業(対事業所)	100名以上	県外	普通
90	増収減益に理由は人員の先行投資。	サービス業(対事業所)	31名～50名	県外	普通
91	営業活動の結果。	サービス業(対事業所)	51名～100名	筑後	普通
92	波があるのはいつものことではあります。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
93	主力商品の売上げが若干悪い。得意先の営業体制が整っていない。雇用厳しい。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
94	2017年9月企業。未受注状態が続いています。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
95	利益率の確保が厳しくなった。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
96	前年に比べ顧客数が減ったが、6月に入り少し増えた。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
97	特に拡大させてないため。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
98	新規が少ない	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
99	営業不足	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
100	安定した受注が見込める業態ではないため、月々の売り上げが不安定だから。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
101	業務が現状維持のため。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	普通
102	5月の受注が前年度同時期よりも良かった為。	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	普通
103	法改正が延期になったため	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡	普通

104	新規獲得営業の不振	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	普通
105	新規受注による売上増となったため	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	普通
106	攻めの営業と市場の投資意欲の向上	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	普通
107	営業努力が高じた。	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	普通
108	安定受注をめざし計画的に営業した	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	普通
109	職員が昨年2人退職したので、今年は売上げより内部組織の見直しをしているため。	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	普通
110	外部環境好転。	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	普通
111	新規の取引先獲得に動ける社員がいなかった為	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	普通
112	以前よりも「同じ方向に向かって進む(会社の方針と現場の活動に一致)」という社内風土に変化し始めた。	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡	普通
113	市場が縮小	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	普通
114	社員育成の結果。営業力の強化。	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	普通
115	自社サイトから新規制作案件の受注が昨年よりも増加。	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	普通
116	営業していない・・・	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	普通
117	業者さまからの紹介、HPからの問い合わせ。	サービス業(対事業所)	11名～20名	北九	普通
118	季節的に同様な推移です。	サービス業(対個人)	11名～20名	県外	普通
119	決算時期と重なり活動が不十分だったと思う	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	普通
120	高齢化、人口減少により継続的に減り続けている印象	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	普通
121	新規事業がまだ育っていないため	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	普通
122	3月が業界としての繁忙期だったため。	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	普通
123	介護報酬、診療報酬改正があり苦戦しています。他に人が集まらず派遣などを利用することが増えている。	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	普通
124	利用者の大幅な動きがなかったため。	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	普通
125	新規利用者様が少し増加した為。	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	普通
126	知名度が上がってきた	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	普通
127	人手不足	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡	普通
128	取引件数の減少	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡	普通
129	29年1月～30年3月が前年比売上げ減少だった。現在前年と同じ程になった。	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡	普通
130	競合による値下げ。	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	普通

131	競争激化、単価の低迷。	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡	普通
132	営業社員の減少(育児休暇、病気等)	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	普通
133	保険料の改訂などがあり、これを機会に販売促進活動をスタートしているが、まだその成果があらわれていない。	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡	普通
134	同友会や業者との広がりが出た。	サービス業(対個人)	0名～5名	北九	普通
135	卸し先の購入減少、営業努力が他社に負けている。	製造業(生産財)	11名～20名	筑後	悪い
136	取引先(主にメーカー)の業況が良くないため	製造業(生産財)	6名～10名	筑豊	悪い
137	森友・加計問題が以前続き、国会が空転して、公共事業の発注が遅れている。	製造業(生産財)	21名～30名	福岡	悪い
138	国内プラント市場の先細りや製缶の外注化(海外)により、以前からであるが仕事が地場に落ちない傾向がある。しかし、新聞紙面でも先の景気回復の基調が中小企業にも降りてきている感じは出始めており、客先においても見積もり依等、仕事の引き合いが昨年よりは徐々に増えている。	製造業(生産財)	11名～20名	北九	悪い
139	本社工場を新しく移転したため、利益減となっている	製造業(消費財)	21名～30名	筑豊	悪い
140	わからない	製造業(消費財)	6名～10名	筑豊	悪い
141	人員不足	製造業(消費財)	51名～100名	福岡	悪い
142	消費の低迷。	製造業(消費財)	6名～10名	福岡	悪い
143	3月末以降、仕事が少ない・・・	製造業(消費財)	6名～10名	福岡	悪い
144	受注減	建設業(建築)	0名～5名	福岡	悪い
145	代表の入院による(29年12月退院、30年4月退院、2回)事業の後退、重要得意先の社内の組織変更。	建設業(建築)	0名～5名	福岡	悪い
146	前年の営業不足	建設業(建築)	11名～20名	福岡	悪い
147	3月までは前期に比べて好調でしたが、4月からは、その反動で仕事量が減っています。この現象は当社の業種(店舗内装・文化施設工事)では、毎年ようです。	建設業(建築)	6名～10名	福岡	悪い
148	ミニバブルかな。	建設業(建築)	6名～10名	福岡	悪い
149	人件費の高騰	建設業(土木)	11名～20名	福岡	悪い
150	6月完成の為売上は7月になる	建設業(設備)	21名～30名	筑後	悪い
151	1月～3月が良かった反動かもしれない。	建設業(設備)	11名～20名	福岡	悪い
152	年度始まりで時期的に仕事量減少。	建設業(設備)	51名～100名	福岡	悪い

153	弊社 PB 商品の新規立ち上げによる在庫量の増加、客先への販売金額低迷している為。	商業・流通業	21名～30名	福岡	悪い
154	業界が毎年閑散期なので。	商業・流通業	6名～10名	福岡	悪い
155	営業力不足。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	悪い
156	需要停滞	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	悪い
157	社員減少による受注減	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	悪い
158	人材確保が出来ていない事で売上げ減少。	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡	悪い
159	採用手段の多様化に歯止めがかからない。求人情報がネットへの移行が進んでいる。対応が間に合っていない。	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡	悪い
160	人手不足。	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡	悪い
161	福岡、北九州地区、全体の工事量が減っている分、新規取引先営業を強化して客先数の増加を目指す。	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	悪い
162	人件費のため高騰のため利益減少。	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	悪い
163	制度変更など市場の変化。	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡	悪い
164	長期展望の企画に注力し、短期的な営業を怠ったため	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡	悪い
165	頑張りが足りない	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九	悪い
166	今までのお客様の減少。	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊	悪い
167	銀行からの仕事の減少	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	悪い
168	異業種の化粧品販売へ参入。	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡	悪い
169	大口契約者の経営不振で注文が減少した。	サービス業(対個人)	100名以上	福岡	悪い
170	近年の天候不順によるものと、同業者が増えてきた為と思われます。	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡	悪い
171	競争の激化。	サービス業(対個人)	51名～100名	北九	悪い
172	2017年7月、大手企業との取引停止(量産停止、客先都合による)。現在、営業品目変更中(自社開発品)だが、数度の不具合で拡販できず売上伸びない状況。しかし、2018年5月～、契約等が増えてきている状況である。	製造業(生産財)	0名～5名	北九	非常に悪い
173	例年落ち込むが、今年は特に悪かったです。人手不足？	製造業(消費財)	0名～5名	福岡	非常に悪い
174	業界の仕事が一旦落ち着いた感がある。	建設業(建築)	11名～20名	福岡	非常に悪い
175	営業力不足	商業・流通業	6名～10名	福岡	非常に悪い
176	顧客の高齢化、ニーズ変化への対応不足。	商業・流通業	11名～20名	北九	非常に悪い
177	営業の効果が出していない。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	非常に悪い

178	対象顧客層の少子化による減少、及び、変化。	サービス業(対個人)	51名～100名	筑後	非常に悪い
179	宣伝等の営業努力が足りなかった。これまでと同じ取り組みでは通用しない。人口減少や高齢化も一因と考えられる。	サービス業(対個人)	11名～20名	筑豊	非常に悪い
180	建築事業(建売)から撤退したから。	サービス業(対個人)	0名～5名	北九	非常に悪い
181	今期はたまたま大型物件の竣工と受注が4～6月になったため。	建設業(建築)	6名～10名	福岡	-
182	販売店の売り上げ増による。	商業・流通業	0名～5名	福岡	-
183	昨年末からの新規開拓の結果が、春以降に結果として現れた。	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡	-